

有明高専だより

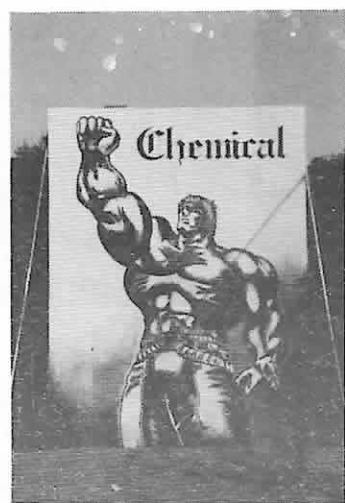
第 62 号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-1011

印刷・久留米軽印刷(有)



◀ 工業化学科バックボード



◀ 電気工学科バックボード



◀ 機械工学科バックボード

第14回体育祭



◀ 建築学科バックボード

▶ 中 機械工学科マスコット
(ケゲゲの鬼太郎)
▶ 左 電気工学科マスコット
(マイケル君)

目次

- | | | | | | | | |
|------|---------------------------------|--|---------------------------|---|---|---|---|
| 16 | 15 14 | 12 10 | 9 | 8 6 5 | 4 | 3 | 2 1 |
| 編集後記 | 高専英語弁論大会
四高専合同演奏会
阿蘇耐久レース | 総合実習リポート
同窓会だより
日本機械学会技術賞を
受賞して
小西君を悼む
教室通信 | 寮生漫歩
寮事務室勤務になって
その他 | 読書感想文コンクール
新着書の中から
学寮だより
寮事務室勤務になって
その他 | 工場見学
人事異動
第20期卒業研究テーマ
文化講演 日本のあるところ
図書館だより
学生の読書傾向？
について考える | 公開講座
先端技術と文化の話
マイコン入門教室
バイク講習会
下宿主との懇談会 | 体育祭写真
入試説明会及び校内見学会
英語検定試験
編入学試験
公開講座
先端技術と文化の話
マイコン入門教室
バイク講習会
下宿主との懇談会 |

入試説明会及び校内見学会

参加者 五八九名

10月25日(土)

昭和58年に「一日入学」という形で始めた校内見学会も今回で4回目になる。中学校側にも、この会がかなり浸透してきて、参加校・参加者とも、ある程度安定してきたようだ。

92校の中学校へ案内状を発送し、98校の中学校が参加し、589名の参加者があった。参加者多数のため、

今年六月、日本英語検定協会に本校でも「英検」を実施したいので、どのような条件を満たせばよいかわかり合せておきました。開校以来前例のないことで、慎重を期したので、三十人以上集まれば、準会場として一次試験を行うことができると分つていただけでした。

「英語検定試験 本校で実施」

一般科 松尾保男

のです。と申しすもの、現状では、準会場で一次に合格しても、二次は久留米か熊本の本会場まで行かなければ受験できないのです。それで、大牟田・荒尾地区で一次の合格者が、二級三級合わせて百二十三人になれば、本会場をこの地区に設置できそうだからです。

その旨を先生諸君にも訴え、諸先生方、事務（教務）当局等の援助も得ることができ、九月十七日締切り、本校のみで百四十一人（内事務一）が応募し、合計百七十九人の志願者数に達しました。校内では、既に三級に合格している者以外はクラス全員受験した1M、社会人としては、六十二歳の方が含まれています。

昭和62年度編入学試験 8月25・26日の両日、第11回日の編入学試験が行われた。志願者は、機械工学科5名、工業化学科3名、建築学科4名の合計12名で、選考の結果、次の4名が合格した。

機械工学科 杉浦 親（玉名工業高校）
工業化学科 荒木 学（三池工業高校）
建築学科 古方徳（小川工業高校）
福田修一（浮羽工業高校）

他方、十一月十六日実施の「工業英語」テストも今度で十一回目（毎年二回）になります。今回は本校だけでも延べ十九人の志願者がありました。

在校生ばかりでなく、卒業生も挑戦に値するテストです。やってみませんか。（11月11日記）

入試説明会・校内見学会アンケート結果

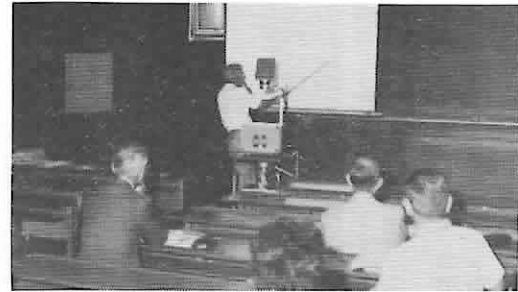
回答	回答 記入者	生徒	教諭	保護者	計
1 総参加者数及びアンケート記入者数	参加者 アンケート記入者	445名 426	77名 48	67名 58	589名 532
2 「入試説明会、校内見学会」に参加することを決めたのは(生徒のみ集計)	自分で 保護者のすすめ 先生のすすめ	390 16 19			
3 あなたは有明高専をどの程度知っていますか	ア よく知っている イ ある程度知っている ウ あまり知らない	32 214 179	6 27 13	1 24 33	39 265 225
4 あなたの身内の人で有明高専を卒業された人、在学中の人がいますか	ア 卒業生がいる イ 在学生がいる ウ いない	40 54 332	6 3 38	3 2 53	49 59 423
5 あなたは有明高専を見学されて、「高専」についてある程度理解が深まったと思いますか	ア はい イ いいえ ウ 分からない	349 10 65	44 1 2	51 2 5	444 13 72
6 あなたが有明高専を見学されて感じられたことは	ア 施設が整っている イ 実験設備等が充実している ウ その他	265 152 9	26 25 2	33 25 11	324 202 11
7 このような行事は何月頃実施したほうがよいと思いますか	ア 8月 イ 9月 ウ 10月 エ 11月 オ その他の月	82 87 180 57 20	8 3 28 9 1	12 8 32 2 4	102 98 240 68 25

公開講座

(1)「先端技術と文化の話」 (2)「マイコン入門教室」

本年度の公開講座は、昨年と同様に二つの講座が開講された。昨年は両講座の開講時期がずれていたが、本年度は同一時期にまとめて開催され、受講者募集及び開催準備等が効率よく行われた。一般の方を対象とした「先端技術と文化の話」は、昨年初めて取り入れられたアラカルト方式によるもので、五つのテーマについて、それぞれ各学科の五名の講師が担当し、様々な方面から生活にふくまむをもたらし教養的な内容の話があった。

中学生を対象とした「マイコン入門教室」は、今回で第四回を数え、中学生に人気の高い講座である。期間は四日間、マイコンコンピュータを操作させることによりその基本的な構造及びプログラミングの基礎を習得させることを目的にし、荒木教授を始めとする本校電気工学科教官6名が担当した。



「先端技術と文化の話」



「マイコン入門教室」

「マイコン入門教室」 公開講座日程表

月・日(曜)	時 間	公開講座の内容
7. 22 (火)	9:00～9:30 9:30～11:30 11:30～12:30	開 講 式 コンピュータ概論 BASIC入門(1)
7. 23 (水)	9:00～11:00 11:00～12:30	BASIC入門(2) プログラミング演習
7. 24 (木)	9:00～11:00 11:00～12:30	BASIC入門(3) プログラミング演習
7. 25 (金)	9:00～11:00 11:00～12:00 12:00～12:30	BASIC入門(4) プログラミング演習 閉 講 式

「先端技術と文化の話」 概要と講師及び日程

日 時	テ ー マ	講師名
7/21 (月)	社寺建築の見かた	松島教授 (建築学科)
7/22 (火)	空調機器の省エネ	庵原教授 (機械工学科)
7/23 (水)	「サイラス・マーナー」小話 —19世紀中頃のイギリス—	品川教授 (一般科)
7/24 (木)	生活に役立つ生命の科学	氷室講師 (工業化学科)
7/25 (金)	わかりやすい遺伝子の話	樋口教授 (一般科)

努力しなければならぬと思われ

「マイコン入門教室」は、昨年中断していたが、前述したように中学生の関心が高く、本年度再開講したもので、多くの申し込みがあり募集人員の20名を上回る24名の受講者を受け入れた。これから、コンピュータに関する知識が必要とされ、情報技術者の将来的不足が危惧されている現状においては、本講座の意義もますます深くなるのではないかとと思われる。

最後に、両公開講座のため、各新聞社、大牟田、荒尾両市広報担当の方々ははじめ、多くの関係の方々に御協力をいただいたことをここに記して深く感謝の意を表します。

第20期生 卒業研究テーマ

昭和62年3月卒業予定学生諸君の卒業研究テーマを学科別に示す。報文番号・報文題名・指導教官名・学生氏名の順に示す。

機械工学科

1. 学習要素の階層的構造について (石崎) 木下 実・佐々木義久
2. 高マンガンオーステナイト鋼の疲労き裂伝播特性 (大山・小田) 池末隆光・甲斐田晃徳
3. 高マンガンオーステナイト鋼の疲労破面形態 (小田・大山・南) 戸上暢啓・松松義隆
4. 爆発硬化した高マンガンオーステナイト鋼のX線応力測定 (宮川・小田) 狼渡清成・丸山龍志
5. セラミックスと金属の拡散溶接 (宮川・小田) 北川健一・木村一博
6. センサ移動装置の設計製作 (田口) 竹原康裕・玉本一人
7. 複合流路内気液二相流の流動特性…障害物なしの場合 (狼渡) 池田高広・請村博文
8. 複合流路内気液二相流の流動特性…障害物ありの場合 (狼渡) 加藤潤一郎・原田英治
9. 浮動ブッシュ軸受の基礎研究 (倉橋) 酒井宏司・島本和浩
10. 水平伝熱面からのサブクール核沸騰熱伝達 (庵原) 大井克利・本田貴久
11. 水平伝熱面からの飽和核沸騰熱伝達 (庵原) 平川伸二・堀 保
12. 環状フィン付伝熱管を用いた潜熱蓄熱装置に関する研究 (吉田) 永井良和・渡辺俊彦
13. ドリルポイント形状と位置決め精度 (田口) 坂田隆一・松井利孝
14. チゼルレスポイント穴加工工具の性能 (田口) 石原英久・小堀康弘
15. 熱間鍛造用金型の研究 (南) 津留英樹・渡辺清也
16. 収束性を改善した離散時間M R A C S の一設計法 (フィルタの効果の検討)(川崎) 石橋隆一郎
17. 回転壁面噴流の安全性に関する研究 (山下) 上嶋孝広・佐藤公則
18. 幼児用新型義足の試作 (田口) 新島伸吉
19. シーケンス制御ミニロボットの試作 (川崎) 樺島浩二・二宮智樹

電気工学科

1. デジタル制御系の設計法 (荒木) 原田英昭・角 信昭
2. 小型電動機速度制御 (荒木) 山中英樹・幸田芳典・吉原稔暢
3. プログラマブルコントローラを用いたシーケンス制御装置の製作 (須藤) 清谷和久・衛藤浩美・河野 清
4. 線形回路解析プログラムの作成 (辻) 柿添健介・松田和久
5. 境界要素法による静電界の計算 (辻) 畑中弘明・木村直哉
6. P L A 書込器の試作 (近藤) 山下猛昭・清田真一・木原雅孔
7. 半導体素子製作シミュレーション (近藤) 下津浦了治・石蔵 貴
8. 線対平板電極におけるコロナ放電特性 (浜田) 中澤栄次郎・堤 良則
9. 円筒型電極におけるイオン流場の電界測定と計算 (浜田) 藤井 司・梅崎 誠・古賀雅典
10. アモルファス磁歪体を用いた弾性波共振フィルタ (小沢) 松田史郎・末吉孝博
11. アモルファス磁歪体を用いた磁界センサ (小沢) 吹春幸一・市村直幸
12. C A S L クロスアセンブラ&シミュレータの作成 (松野) 木庭知男・山下恵三
13. T K - 85教育用ツールの製作 (松野) 村田克也・安東聖一・今村道夫
14. ホログラフィ干渉法による振動解析 (永守) 津村周二・鈴木正親
15. ホログラフィ干渉法による微小変位の測定 (永守) 入来貴範・野田政佳・清田敏行

工業化学科

1. 金属錯体の熱分解及び質量スペクトルに関する研究 (城戸) 太田浩一・島添光正・高 嘉剛
2. パソコンによる3次元画像の処理 (石橋) 石原国泰・新開光三・平井浩二
3. ポリウレタンの熱分解に関する研究 第17報 Pyr-GC, Pyr-MS, Pyr-GC-MS (ハイフェネーティドテクニック)によるポリウレタンの分析 (吉武)

4. パソコンによるデータ計測についての検討 (永田) 井形一紀
5. コレステロールオキシダーゼによるコレステロールの酸化反応 (永田) 石本新一・西山明男
6. グルコースセンサーによるグルコースアノマーの異性化速度定数の測定 (永田) 松本香鶴
7. イオン交換体の合成 (松本) 高本啓一・美川文夫
8. 親水性ゲルの合成 (松本) 江崎佳明・瀬戸島弘一
9. 真空下における気液平衡関係の測定と熱力学的健全性の検討 (渡辺) 黒田孝一・村上豊昭
10. 気液平衡測定における熱力学的健全性のパソコンによる検討 (渡辺) 池田 修・上原貞晴
11. 重質炭酸マンガンのαタイプC M D の合成 (宮本) 阿部利宏
12. 重質炭酸マンガンのαタイプC M D の放電特性 (宮本) 下原一也
13. 高導電性カーボンの電池用導電剤としての適合性 (宮本) 田中 剛
14. N₂ 導入下での電解二酸化マンガンの放電特性 (宮本) 中山正史
15. N₂ 導入下での電解二酸化マンガンの合成とその物性 (宮本) 西村泰治
16. 二次結合を介して集合した高分子間コンプレックス (氷室) 北野博久
17. Poly (4 - acetoxystyrene) の溶液粘度とその温度依存性 (氷室) 竹田千寿
18. Poly (4 - acetoxystyrene) および Poly (4 - hydroxystyrene) の溶解度パラメータ (氷室) 田中博文
19. テトラフェニルポレートイオン選択性電極の試作とその応用に関する研究 (正留) 鶴瀬元康
20. ミクロ高速液体クロマトグラフ用イオン電極検出器の試作とその性能評価 (正留) 野添拓見
21. 種々の高分子をマトリックスとする高分子模型界面活性剤イオン電極の試作 (正留) 丸山高広

建築学科

1. 工場生産戸建住宅のモジュールの変遷と提言 (松島) 竹浦武則・廣田隆徳
2. 荒尾市三の宮の調査・実測・作図および保護に関する考察 (松島) 岡田英介・富重一仁・守田政晴
3. 軸外力を受ける鉄筋コンクリート造柱材の変形及び耐力に関する実験的研究 その1 使用材料の動力学的性質について (玉野) 今岡昭智・奥村満治
4. 同 上 その2 せん断スパン比の影響について (玉野) 江田昭彦・立山泰成
5. 同 上 その3 軸力比の影響について (玉野) 矢野達雄・若杉勝弘
6. パッシブソーラーハウスに関する実験的研究 (吉岡) 鬼木俊昭・中内哲也・梅野幸一・馬場繁徳
7. 平均応力のある低サイクル疲労寿命 (原田) 谷本卓也・角惣市・古賀敏宏・高口幸雄・西山智幸
8. わが国の病院医療の推移に関する研究 1960年以降の一般病院について (新谷) 坂田正信・時津好成
9. 欧米の病院建築計画に関する研究その1 J. トムソン・G. ゴードンの「病院」による史的研究について (新谷) 大津一美
10. 同 上 その2 F. ナイチンゲールの「病院の覚え書」と「看護覚え書」について (新谷) 権藤敦子
11. 同 上 その3 病棟計画の特徴について (新谷) 西山正子
12. 吊屋根のフラット発生機構に関する研究 連成フラットについて (三宅) 中西寿人・清家忠信・松下伊納・吉村智樹
13. 小説における住宅像と住まい方の特徴 夏目漱石の場合 (北岡) 牛島昌弥・内野治朗
14. マイコンによるパース作成 (北岡) 竹山勝則・中山勝一
15. 室内照明設計法に関する研究 (山下) 今村 剛・毛利智毅
16. (旧) 大牟田市市民会館の音響調査 (山下) 杉野尊志・龍 和宏
17. R B S M (剛体・バネモデル)を用いた離散化極限解析法によるRC部材の破壊に関する研究 はり部材のモデル化について (上原) 合原孝善・松山裕之

バイク講習会

約180名のバイク通学生を対象に、実技講習会が6月28日と7月1日の両日に実施された。昨年度までは異なり、今回は実技講習に加えて講話も行われた。

講話は時間割りの都合から二日に分割され、四・五年のバイク通学生が6月28日に、一・三年の全学生が7月1日に、それぞれ一時間ずつ受講した。内容は、原付の交差点の通過時における注意点等の法規の面と、二輪車の構造や乗り方といった操作の面の二つが中心であった。その他、バイク通学生には実技講習についての事前説明も行われた。初めての試みでありながら、講師を快く引き受けていただいた大牟田警察署交通課の川口氏、二輪車普及協会の宮地氏の両氏には感謝したい。

実技講習は七月一日の講話の後引き続き行われた。例年どおり、交差点の部、スラローム・一本橋の部、ブレイキングの部の三部に分かれ、それぞれトラック内フィールド、野球場、体育館前道路で行なう。学生諸君も三班に分かれ、各部を順に受講するといったローテーション方式を用い、トラブルも特になく、予定の二時間ほどで終了することができた。各部において指導に当たっていた大牟田二輪車普及協会の十五名の指導員の皆様の御陰である。

次に講習会の後行われた反省会で出された意見をまとめた反省会。全体的に運転操作は最近向上して来たように思えるが、ブレイキング時の車輪のロックや後方の安全確認が不十分であった。また、整備不良の車輦が目立ったので、早急に整備を行ってほしいとの要望も出された。学生諸君においては、自分の運転を振り返り、これらの点に怠りはないかもう一度チェックしてもらいたい。最後に、この講習会の後も事故や違反の報告が後を断たない。これは講習会の効果が出ていないのではなく、得られた操作技術や法規を確実に守らなければいけないという義務感が欠けているからではないだろうか。学生諸君はこの点を十分考慮して、今後バイクに乗ってもらいたい。



▲講習風景 (スラローム)

下宿主との懇談会

六十一年度下宿主との懇談会は七月三日(木曜日)修己館のセミナー室において行われた。下宿主のご出席十名、学校からは校長・三主事・主事十名、学校担任代表・学生課の計十八名が出席し、約一時間半にわたり懇談した。まず、校長の挨拶があり、下宿主の方々の日頃のご苦勞に感謝する旨の話があった。下宿主の方は

それを受けて、いくつかの話題を出された。昨年、指摘された挨拶については、下宿主のなかにもまだ良く出来ない学生が居ること、その他、男女交際の問題、アルバイトで夜が遅い、食事の好き嫌いが多く、部屋が汚れているのが掃除として欲しい、また、他の学生が下宿の炊事場や風呂を使っている等、下宿生、下宿を訪問する学生にまだ幾つかの気を付けねばならない点があるが、全体的に下宿生の評価は以前よりも良くなっているようである。

最後に学生主事からは、女子の夏服が制定された事、上級生の服装が乱れている事、下宿生のバイクや車の持ち込み、また、他人のバイクや車の置場に利用されやすい等の点について、学校で指導している点に協力をお願いがあった。懇談のあと、修己館食堂で会食をして散会した。

▽工場見学△

- | | |
|--|---|
| 5月15日(土) 5 M | 5月17日(日) 5 A |
| 安川電機製作所・三菱化成工業 | 三井三池製作所・三井重工業 |
| 黒崎工場・新日本製鐵八幡製鐵所・東陶機器 | 新日本製鐵八幡製鐵所・八幡製鐵所・北九州児童文化館 |
| 5月23日(土) 5 A | 10月1日(日) 4 M |
| 福岡銀行本店・福岡市庁舎行政棟工事現場・天神中央公園地下駐車場・福岡国際センター | 日立造船(株)有明工場 |
| 6月25日(土) 5 E | 10月16日(土) 4 A |
| 三菱重工(株)長崎造船所・香焼工場・長崎研究所・三菱電機(株)長崎製作所 | 熊本県立美術館・熊本市立図書館・熊本県立伝説工芸館 |
| 6月27日(日) 5 C | 10月21日(土) 3 M |
| 九州工業技術試験所 | セイレイ工業(株)福岡工場・九州工業技術試験所 |
| 7月7日(日) 5 E | 10月21日(土) 2 A |
| 三井三池製作所三池工場 | 雲仙山荘・島原城・島原文化会館図書館 |
| 7月10日(日) 4 E | 10月23日(土) 3 A |
| 三井三池製作所三池工場 | 東陶機器(株)・北九州市立図書館・段谷産業(株)・新日本製鐵八幡製鐵所・三菱製鐵セメント(株)九州事業所・黒崎工場 |
| 9月4日(土) 4 C | 11月4日(土) 5 D |
| 三井アルミニウム工業(株)三池事業所 | 本田技研工業(株)熊本製作所・三菱電機(株)熊本製作所・九州電力(株)八丁原発電所 |
| 9月9日(土) 10 H 2 E | 11月5日(土) 6 H 2 C |
| 三菱電機(株)福岡製作所・九州電力(株)玄海原子力発電所 | |

人事異動

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ●昭和61年5月1日付 | ●昭和61年6月1日付 |
| ▲昇任▲ | ▲昇任▲ |
| 庶務課課長補佐 富安計太 | 庶務課長(総務主任) 山下政行 |
| ▲昇任▲ | ▲昇任▲ |
| 庶務主任(教務係) 小宮俊幸 | 庶務主任(総務係) 山下政行 |
| ▲配置換え▲ | ▲配置換え▲ |
| 学生係長(庶務係) 徳永信二 | 学生係長(庶務係) 徳永信二 |
| 庶務主任(庶務主任) 中島正嗣 | 庶務主任(庶務主任) 中島正嗣 |
| 教務係(庶務係) 安永振一郎 | 教務係(庶務係) 安永振一郎 |
| 用度係(庶務係) 西原孝一 | 用度係(庶務係) 西原孝一 |
| ▲転出▲ | ▲転出▲ |
| 阿蘇青年の家庶務課長 富安計太 | 阿蘇青年の家庶務課長 富安計太 |
| ●昭和61年11月1日付 | ●昭和61年11月1日付 |
| ▲任命▲ | ▲任命▲ |
| 工業化学科主任 永田良一 | 工業化学科主任 永田良一 |

文化講演 (61.10.31)

日本のこころ

西日本新聞社 解説委員長

益田 憲吉 氏



— マスケンさん(親しみを込めてこう呼ばして頂く)は演壇には上からずしと演壇の前つまり床の上で話し始められた。皆さん、お早ようございます。折角、壇がしつらえてあります。下に降りて来た意味をお話し申し上げます。上から見下ろして話したのはたとえ年少者に対してでも失礼に当たります。ただ校長先生(が話しをされるのは)は別です。それからこんな(壇と諸君との間が)離れると、心が通じるところがございいます。

さてタバコをのんでいる人は手をあげて下さい。遠慮しないでいいとよ(笑)。タバコはのんでも構わない。ただ今頃からタバコをのみよれば、34、35才頃でかならず肺ガンで死ぬ。とくに15才位の一年生が20年たつて35才で死ぬ。奥さんは30才、女盛り。初七日もすまないうちに、すぐ隣りの太郎吉とねんごろになつて(笑)……。それで良ければタバコをのみなさい。

い。タバコはのんでも良いから、生涯にのむ本数をばば頭の中にえがいておいて、できるだけのむ時期をずらすこと。君たちの肺は成長しつつある時期だから、今ニコチンを吸い込めば確実に肺ガンになる。さて恋人のいる人は手をあげて。君達の時代は確実に人生80年。18才の頃から彼女を作っていたら60年はつきあわねばならぬ。だから学生の頃は友達もておれば、隣れみの眼で見ておれば良い訳で、若い頃からもてよる奴はもう大事なときに腰が立たんことなつてしまふ(笑)。若いときからもてんもいて。会社に入れば黙っていてもてる。若い頃は一生けん命に勉強して下さい。恋愛なんて死ぬまでやれるとですよ。有明高専にはもう二度と入れないのだから。毎日一時間でも二時間でもおろそかにしないことです。ご承知のとおり日本は今どうやら高齢化社会になりつつある。高齢化社会というのは、一般的にはその国の人口に占める65才以上の人の比率が7%になつた頃からをいつております。日本は去年10%になつたが、27年後つまり君達が40才になった時に、20%になります。つまり今は9人で一人を養つていたのが君達の時は4人で一人を養わねばならぬ。君達の時代には、退職金も年金も、それどころ健康保険も無くなりまふ(笑)。今のアメリカと同様に、自分達で元氣な間にガンや脳出血に對する生命保険を考えねばならない時代となります。年功序列制もなくなる、まあ入社して5年間は定期昇給はあるかも知れないが、30才を越えたら自分の才腕でやつて行かねばならぬから(同期入社の人で)大変な開きが出てくる。

私がタバコをのむなどといったのは、自分の老後は自分の健康と才覚でしか切り開かれない大変な時代になつておるからであります。昭和15年、日本の人口は3億5千万。今は2億8千万で800万人多い訳です。本当は(2年生以下を指さして)これから先は要らん訳です(笑)。21世紀になると(2億5千万)1億5千万になる。おそらく君達は結婚しても子供は一人しか生めん。だから今のうち、しょうもないことを考えずに一生けん命に勉強して、結婚したら章戚沐浴して羽織袴で子供をつくらなうこととなる訳です。

が、三・四年になつたら鹿児島まで行つて九州の長さを肌で知つてこい、ただし特急はだめ、鈍行で行け。五年位になつたら北海道の羅臼まで行つてこい、新幹線はだめ、特急はさし許す、といつて下さい。

さて中国旅行のとき、天津・上海・北京の郊外に行くとううゲリラの巣。そんな所を3ヶ月間も旅行してまわつたが、夜寝るときも寝かやいるが剣客と同じように僕のアンテナは四方八方に張りめぐらしてあつて、ちよつとでもおかしい動きがあれば寝台の下にもぐり込む。なんでこんな神経を養つておつたかという、子供のとき近所の西瓜畑を片づ端から荒したからです。そのときはちゃんと三方に見張を立たせて、僕が長い竿を持って畑に入つて行く。なぜならマムシがいるから。皆さん方が社会に出たとき、高専で詰め込んだ情報よりは人間本来の本能が優先することを片時も忘れてはいけません。学校で習つた情報よりは、人間本来の本能の方を、将来機械を動かしたり工事をするとき、出てくる訳です。この頃の若い者が本能を磨くことを忘れておる。旅に出ると七人の敵がおります。人間の中にはマムシがおります。黙つて見ておつたのではマムシが青大将に判らんとす。

米の飯とアサリ貝・シジミ貝

のミソ汁のすめがある。なぜか、ここで中曾根さんの知的水準発言の問題になる訳です。あの人の最大の誤りは教育と教養とは別ということをよく理解してなかつたということです。学校で習うのは教育であり技術なんです。習うのは広義の情報。勉強や情報だけならば高校や高専で充分なんです。ただし医者は別ですがね。一般には高校で充分なんです。だから大学に行かなくとも、就職したあとその気になつて四年間も研さんすれば大学卒と同じ教養を身につけることができる。BSの石橋正二郎さんは久留米商業だけだけど、久留米の文化施設のほとんどを寄付されている。松下幸之助さんは小学校だけ、これがPHP研究所を創り、何百冊も教養の高い本を出版され、数々の文化的製品を作り出して輸出されているでしょう。(このように)教育と教養とは別なんです。

さてアメリカは沢山の民族のルーツです。英国系だけでも幾つかに分れる上に、黒人・メキシカン・イタリアン、フランス人もおればアルトリコもいる。貧しいために子供を学校にやれない人もいます。しかしこれだけの民族がいるという事は、アメリカには沢山のものがあるという事です。判り易くいうとコーヒを沸すときの濾過紙が何枚にも重なっている。訳で、アメリカで何回も濾過されて最後に出て来たもの、つまり権威づけられた奴、存在価値をもつた奴は、即世界に通用する普遍性をもつた文明になる訳です。今日、君達が外でやつている野点文化。文化というのはその国だけの多分に文化。エジソンの電球や、蒸気機関は文明です。ここが中曾根さんには判らなかつた訳です。要するに教養が足りんもんやから。つまり日本は単一民族ですから一つの濾過紙しかない訳です。たとえば日本の尺八をイランの青年に与えたら、叩き割つてご飯を炊くのに使います。こんなものです。そうしますと、旧人類に対して新人類というのがでてきました。この違いに對する私の解釈を申し上げると、いま日本人は朝からアメリカを食べ中国を料理しブラジルを飲んでる。たしかに皆さん方の生活はアメリカナイズされてはおりますが、これからが大事なんです。アメリカ人と日本人の心とは千里の隔たがりがあるということです。いくら我々がデトロイトの労働者がはいっていたGパンをはいても、有明海のシジミを食つて育ち、メカジャを食つて育つたのです。いくらフランスの香水をつけたつて荒尾のボタ山を見て育つたのです(笑)。これですたい。ところが新人類というのは長洲の金魚をみながら育つたくせに、NYのマンハッタンで育つたような心持ちになつておるのです。我々は何百年もこの筑後の平野で育つてきた、これが土着ということ。日本人の心というのは日本列島に根づいてここから生れた考え方・価値感であります。ところでアメリカで生れたGパンをモスクワの青年達もはきたがる。ここにアメリカの(文明の)いい所がある。日本にないアメリカの心がある。これは我々の知つておかねばならぬ点です。たしかに日本は安くいい品物を作つて輸出しておりますが、その原理はみんな外国から教つた奴ばかりでしょう。ここに日本民族のある意味での底の浅さがでてくる訳です。日本は世界に伝播できる何かつくつたのですか。

忘れたかいのかんのは、やはり我はこれの国に両脚を置いて育つてきたということなんです。日本の心はやはり春夏秋冬の移り変りの中から生まれてきています。だから旅をせにやいかんとす。旅は一人で行かねばならぬ。お嬢さん方は別ですが。目標を定めずに旅をせねばならぬとす。旅が自分の心を養う一番いい方法です。旅に出れば必ず何かを反省します。本当は行方定めぬ旅がよい。旅には必ず危険が伴います。いやでも四方八方にアンテナを張りめぐらせておかんとか家に帰りつけん。一・二年生の間は隊伍を組んでいいですがね、もう四・五年になつたら一人でやつて下さい。

漢グリーになれ

有明図書館だより

52

学生の読書傾向(?)について考える

図書館長 丹後杏一

毎年夏休には三年以下の学生に
対して国語、歴史、英語の各教科
で宿題として読書感想文を書き、
提出させるようにしているが、そ
のさいに主になど作家の
ものを多く読んだかを調べてみる
のも一興と思ひ、対象を二年生に
しぼり提出された約百二十篇の作
品の作家名を調べてみた(文学作
品のみに限定した)。そして、それ
を日本の作家と外国の作家とに分
け、以下のように多い順に並べて
みた。

「日本の作家」

- 一〇 夏目漱石
- 七 芥川竜之介
- 四 中島敦、太宰治
- 三 武者小路実篤、遠藤周作
- 二 宮沢賢治、山本有三、
川端康成、壺井栄
- 一 森岡外、志賀直哉、島崎
藤村、堀辰雄、石川達三、
城山三郎、西村京太郎、
井上靖、永井龍男、
竹山道雄、幸田文など。

この結果をみてまず全体的に言
えるのは、宿題のせいでもあらう
が、好む作家の傾向が二十年前と
大して変わっていないということ
日本文学、外国文学のいずれをみ
ても定評のある作家が圧倒的な優
位を占めているということである。
なかでも、夏目漱石、芥川竜之介、
太宰治、武者小路実篤などの相も
変わらぬ人気にはおどろかされる。
五木寛之のものなどは一時はよく
読まれたようだが、今ではすつかり
消えてしまった感じが、今人気の
ある赤川次郎などもおそろしく早晩
消え去ることであろう。その点か
ら言えば、やはり古典的作品の重
みは大したものと思わざるをえ
ない。

しかし、一方では私達旧い時代
の人間はこうも考える。今の若い
人達はあまりにも保守的で私達の
読書指導に従順すぎる。「五〇冊
の本」などにはとらわれず、もつ
と新しい本、反逆的ともいえる

- 五 ヘミングウェイ
- 三 カミュ、カフカ
- 二 ユーゴー
- 一 ツルゲネフ、ドレー
ヒルトン、ミッチェル
魯迅など。

程創造的な文学、若い作家の作品
などを積極的に読むべきではない
のか。SFなども本格的な作品を
えらべば一風変わった面白い感想
文が書けるのだ。そこで私は言ひ
たい。新人類よ、勿論古典を読む
のもよいが、そのみにとどまる
ことなく、意匠の変わった最近の
作品などもどしどし読んで型には
まらぬ自由な感想文を寄せて欲し
い。読書の秋だ。時には町の本屋
なども歩いて見給え。この世には
ごまんと本があるのだ。

角川文化振興財団主催 第八回文庫による読書感想文 コンクール校内予選入賞者

- 本年度も昨年に引き続きこのコン
クールに参加し校内予選を行った
のでその入賞者名を左に掲げる。
(入選)
- 〇「老人と海」を読んで
電気工学科二年 谷寄文子
- 〇「罪と罰」を読んで
電気工学科二年 三輪哲哉
- 〇「ころ」を読んで
工業化学科一年 水間直子
(佳作)
- 〇「銀河鉄道の夜」を読んで
電気工学科一年 只限伸二
- 〇「人間失格」を読んで
電気工学科二年 瀬戸淳一
- 〇「ころ」を読んで
建築学科 三年 入来武雄
- 〇「車輪の下」を読んで
建築学科 二年 桑野涼子

新着書の中から

- 〇「変身」を読んで
工業化学科二年 村上栄治
- 最近図書館で購入した本の中か
ら読んで面白かった本、面白いと
思う本を何冊かえらび、簡単なコ
メントをつけて紹介します。
- 〇京極純一「日本人と政治」(東
大出版会)私達日本人にとって
政治とは何かという問題につい
て割と分かり易く書いてある。
- 〇宮川雅代「ニューギニア・レク
イエム」(潮出版社)戦争中の
日本兵の肉食生活についての記述
は生々しく衝撃的!!
- 〇司馬遼太郎「ロシアについて」
(文芸春秋社)ロシア人の民族
性、現代のソ連の政策の背景を
なす歴史的事情などが客観的に
書かれており、ためになる。
- 〇井手孫六「終わりなき旅」
中国残留孤児の歴史と現在」
(岩波書店)本年度大仏次郎賞
を受賞。
- 〇犬養道子「人間の大地」(中央
公論社)いま「ゆたかな社会」
に住む私達は地球上の大部分を
占めるアジア、アフリカ、中南
米などの「貧しい世界」の実情
について知らなすぎる。心をつ
くしてこの本を読め。
- 〇岳真也「在日ニッポン人の冒険
——いま日本人らしい生き方つ
て何だろうか?」(情報センター)

- 〇前の本で言ったのと同じ趣旨か
ら読むことをすすめる。
- 〇P・C・ヤシルド「洪水のあと」
(岩波書店)核戦争後のほろび
ゆく世界の姿を想像してえがい
た一種の逆ユートピア。作者は
スエーデンの人。
- 〇加賀乙彦「渾身」(朝日新聞社)
朝日新聞に連載され、好評を博
した現代小説。本年度大仏次郎
賞を受賞。
- 〇井上ひさし「四千万歩の男・蝦
夷編」(講談社)江戸時代後期
に幕府の命を受けて全国を測量
し最初の日本実測地図を作成し
た伊能忠敬を主人公とした歴史
小説。山片蟠桃、菅江真澄、木
食上人、間宮林蔵、山東京伝な
ど多くの人物が登場し、風刺の
利いためつぽう面白い作品。
- 〇高文研編「文化祭企画読本」(高
文研)全国の高校文化祭での変
わったアイデア、面白い企画の
例を集めたもの。本校のマンネ
リ化した高専祭のあり方を考え
直すための資料となろう。
- 〇渡辺睦子・増田正造「マンガ能
百番」(平凡社)能に興味をも
った若い女性日本人の伝統芸能
の髄をマンガで表現したもの。
一風変わった面白い本。
- 〇「岩波・現代産業情報」86(岩
波書店)この一冊で現代産業の
壮大な景観を鳥瞰できる。将来
の進路(就職)の選択の参考と
なろう。

銀杏棟 学寮だより 青葉棟 若葉棟

寮生漫歩

歩いた歩いた25km!

寮長 竹浦 武則

5月30日から翌日の未明にかけ
て、寮生待望(?)の名物行事である
寮生漫歩が行われた。今年のコー
スは南関方面を巡る25kmである。
この日の朝は、空一面が雲に覆
われ決行できるか危惧したが夕方
には晴れたり、予定より20分程遅
れて出発した。

最初の休憩所である南関農協駐
車場までの8.4kmは、皆元気がよく、
喋り合いながら歩いていた。休憩
所に着く頃には、日が落ちて暗く
なっており、小休止の後、暗いな
か出発した。そろそろ疲れ始め
てきたように見えた頃、思いがけ
ないことに、一行を歓迎するかの
ようにホテルが姿を現し始めた。
皆疲れを忘れてしまったように元
気になった。第2休憩所に着いた
のは9時10分予定より20分の遅
れであった。ホテルの群れとも別
れ、八角目峠を抜けて第3休憩所
の三池公園にたどり着いた。ここ
でようやく夜食、そして一番長い
休憩時間。この休憩で皆疲れを癒
し、体力を回復して、残りの10km
を歩き始めた。まだまだ元気があ

寮事務室勤務になつて

寮務係長

山下 政行

六月一日付で寮務係長を命ぜら
れ、寮へ出勤するようになって早
くも五ヶ月になろうとしています。
当初は、長い間会計課に勤務し
て十九年振りに寮に来て非常に懐
かしかったです。寮を巡廻して
いて紅葉棟で二十年程前に購入し
た緑色のチリ取が未だに使われて
いるのには驚きましたが、こんな
事は他にもかなりあります。
二十年前と変わった事について述
べれば、当時は石ころだらけで赤
土がむき出しだった外庭に現在は
芝生や色々な樹木が沢山植えられ
て大変緑が多くなり非常に綺麗に
なりました。建物についても銀杏
棟が建てられ、浴場や食堂も増改
築されて非常に良くなったこと。
また、当時は豆炭アンカという
のが大変流行し、寮生の暖房もそ
れだけであり、今頃の季節になると
前任の寮母さんが夕方になると
豆炭に着火する為に七輪に火をお
こしておられた姿を思い出します
が、現在は各室にスチームが設置
されて随分と便利になったと思い
ます。
次に、残念に思う事は、若葉棟
の北側にある花壇やひょうたん池
は、先輩寮生達があまりにも殺伐
とした外庭を少しも潤いのある
場所にしようと休日を返上して自
分達の手で造りあげ、美しい花を

- 〇六月一日付で寮務関係職員
の配置替えが行われました。
- 寮務主任(会計課) 山下政行
寮務主任(庶務課) 中島正嗣
係長だった徳永信二さんは学生
係長に、係員の西原孝一さんは用
度係員になりました。永い間御
苦労さまでした。
- 〇寮の周囲の自然環境は歩一歩
とその姿をかえて行く。その変化
は純な目を持って見る人のみが気
づく。
- 〇各棟内には同じ造りの居室が
並んで。一歩足を内に踏みいれ
ると一つとして同じではない。住
む人の境界を示している。拾物は
越す物品を持ちこんでいる人、各
種の化粧品(?)を並べている人、本
立の本からは通学している学校を
判断できない人、必要なもののみ
を持ちこみそれを有効に使用して
いるだろうかと思えないようにに
手際よく整理している人、等々各
人の姿が違つていくように異なる。
- 〇朝の点呼時は、暗々とした顔
で出て来る人、足だけがややつと眠
りから醒めた人、消灯時近くにな
ると活動を終え就寝する人、二時
三時迄ほとんど毎日勉強(?)して昼
間は休息すべき時間帯としている
人、等々。
- 〇人間は平等だ、自由だ、権利
だ、……だという。本当にそうだ
と思う。しかし、なぜ一人一人の
生活はこんなに異なるのだろうか。
(中村)

いた。GCのキャリヤガスとして使用するヘリウム、窒素、水素炎イオン化検出器(FID)使用時に必要なエアコンプレッサからの空気、水素等のバイブラインを設置した。その結果、ポンペをポンペ置き場にまとめて置くことが出来、室内のコンク操作により、ガスの導入が可能となった。

本分析室に設置されているGC抑本G180型)は、昭和57年度前期接着剤の熱分解実験に使用されて以来、使用されていなかった。本装置を生かすためいくつかの修理を昨年度より今年度にかけて行った。

5Cの学生実験にて本装置を使用した。GC-MS実験においてはGCのみ使用すればよい場合も、分析試料はMS部を通過し、MSのイオン化室を汚染することになり、多数回実験を控える必要があった。本GCが利用可能となったため、まずGCの測定条件(カラム温度・昇温条件等)を定め、ついでGC-MSを、前記装置と同一条件(又は近い条件)で測定することにより、MSのイオン化室を不必要に汚すことなく測定できることとなった。

その結果、5C学生実験において、

未知有機化合物の混合物を学生に与え、GCにて分離条件を検討させ、ついでピークの分離のよい昇温条件を検討させ、その条件(又は近い条件)で、GC-MSを測定させた。一度は、GC-MSのGCのみで測定し、ピーク分離の確認をした後、再びGC-MSのGCのピークの箇所をMSを測定し、MS解析を行い、成分の同定を行なった。本実験は、前期で終了した。学生は本実験により、GC及びGC-MSにより、分離と同一という分析化学の基本をかなり理想的に修得できたと思われる。

卒研においては、この考えを生かし、GCに熱分解装置を接続し、Pyr-GCの形で、ポリウレタンの分析を、カラムにシリカゲルを用いて、ポリマーグリコールから行った。始めに数種のポリマーグリコールのPyr-GCを測定し、ついで、ポリウレタンのPyr-GCを測定して、それらのバイログラム(ピークパターン)の比較を行い、ポリウレタン中のポリマーグリコールの同定が出来た。

今後は、Pyr-GCにてピークの同定をRtにより行う予定であるが、一方前実験と同一の条件により、Pyr-GC-MS測定を行い、MSの解析より、各ピークの同定を可能な限り行う予定である。本法では、Pyr-GCの結果が、MS解析の参考となるため、同定を容易にすると考えられる。

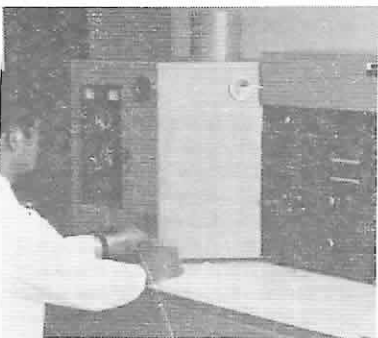


写真4 ICP発光分析実験



写真3 シークエンス制御実験

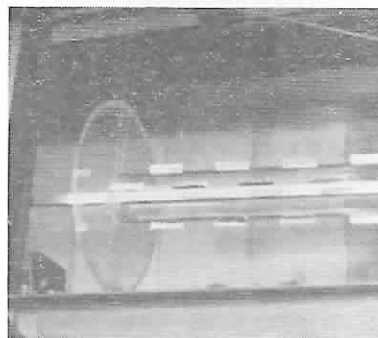


写真2 円柱のカルマン振動実験

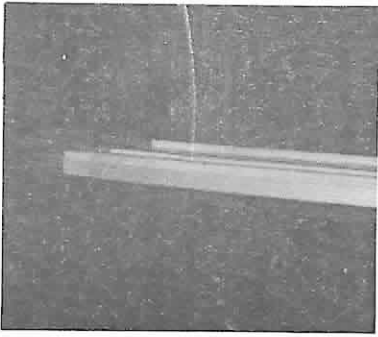


写真7 橋梁構造物の風による振動実験(1日入学)



写真6 パソコンによるデータ整理



写真5 Pyr-GC-MS 実験

昭和61年度前期(一部後期を含む)に総合実習にて行われた諸テーマについてその進み具合、今後の予定等について述べる。

(1) 環境風洞を用いた実験——円柱のカルマン振動——(三宅) 5Aの学生実験において次のような実験を行なった。

(2) シークエンス制御実験(小沢) 4E・4Mの合同の学生実験により前期は、シークエンス制御装置の製作を行い、ほぼ完成した。後期は、製作の延長として、実際に動作させる実験を行なっている。

(3) 環状フィン付伝導管を用いた潜熱装置に関する研究(吉田) 本研究においては、理論数値計算によるシミュレーションは、既に終了し、昨年度は実験を行なった。本年度は、引き続き実験を行う予定であるが、昨年度の実験の際に装置の不備な箇所、あるいは故障が発見されたため、本年度前期の卒研の時間の大半は、装置の補修、改良に費やした。現在改修はほぼ終了し、細部の調整を残すのみとなっている。また蓄熱材を昨年度のものに変更し、その影響を調べる予定である。

(4) パツプソーラーハウスの実験的研究(吉岡) 卒研において、集熱器を自作して、その性能を調べている。他に、工作室とプロジェクト室のまじり切りのが梁の工事を行なっている。後期は、4Aの学生実験にて熱伝導率の測定。3Aのソーラー実習を行なっている。

(5) アルゴンプラズマ実験(正留) 環境汚染第二分析室においては、アルゴンプラズマ実験を行なっている。

ICP発光分析(Inductively coupled plasma emission spectrometry)は、発光分析法の一種で、試料の励起手段として高周波を用い、イオン化したプラズマ中に試料を吹き込み、励起させ、その励起原子、イオンの状態が定常状態にもどる時の余分のエネルギーと元素固有の波長を、スペクトルの波長から定性分析、放射されるスペクトル

総合実習レポート(25)

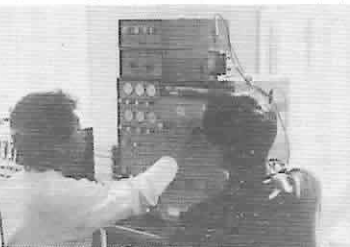


写真1 Pyr-GC 実験

の強度から定量分析を行うものである。

本法により水溶液中、有機溶媒中の金属元素を直接分析することができ、アルカリ土類、希土類元素に対しては、特に感度がよく分析が可能である。(ppbレベル)

現在、環境分析室における機器分析実験において、本法を用いて銅イオン、鉛イオン等の重金属、ランタン等の希土類元素の検量線作製実験を行なっている。

来年度は、ICP発光分析法を高速度クロマトグラフィー(HPLC)や、ガスクロマトグラフィー(GC)、フローインジェクション分析(FIA)の検出器として用いることにより環境水圏の元素の存在分布の微量レベルでの化学種同定分析(トレースキヤラクトリゼーション)を行うことを検討している。

(6) 廃水処理実験(宮本・丸尾) 2C・3Cの学生実験よりの銀廃液の処理、また各学科の写真廃液の処理を5Cの学生実験にて、11月より実施する予定である。

(7) GC及びGC-MSによる実験(吉武・丸尾) 環境汚染第一分析室では、昨年度、ガスの配管工事を行なった。これは、本施設完成当時既に設置されておきまのであったが、未完成のままになっていた。そのためポンペを室内に置くため使用空間が狭くなり、又危険を伴う

昭和61年度 前期総合実習経過表

実習経過 実習項目		実習経過 (月)		4			5			6			7			8			9			実習者数×時間(人時)					
		(日)			10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	M	E	C	A	計
潜熱蓄熱装置に関する実験					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	214				214
シーケンス制御					■			■	■	■	■	■	■	■					■			55	59.5			114.5	
ポリウレタンのPyr-GCによる分析					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				353	353	
風洞実験					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					240	240
工作室→プロジェクト室間仕切が梁工事														■											4	4	
パツシブソーラーハウス	実 験				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					312	312
	集熱器製作													■	■	■											91
通算累計																		269	59.5	353	647	1328.5					

同窓会だより

日本機械学会技術賞を受賞して



益田 豊次 (M科3期生)

前略、先日は日本機械学会賞受賞に際し思いも掛けず高専だより委員会より執筆依頼のお電話を戴き御礼申し上げます。併せて、卒業以来、教官・卒業生他各位へも御無沙汰しております事をお詫びしますと共に遅れ馳せながら近況につきお知らせ致します。

昭和45年の卒業以来、当社工場及び研究所にて一貫して圧延設備の開発・設計に従事しております。私が今回受賞しました日本機械学会賞は技術賞と論文賞とに分かれており、前者を受賞(昭和61年5月授与)出来たものです。前者は主として、産業界を対象とした技術・特許及びその製品に授与され、後者は学術論文が対象となっております。

簡単に紹介しますと、技術賞名は「圧延機用高性能油圧圧下装置の開発」で、製鉄所における板材圧延設備に採用されている圧延用ロールの位置決め装置(圧下装置)に関する新技術が主体となっております。この新技術は、新型サーボバルブ・油圧サーボ機構及びその制御装置から形成され、社内論文(日立評論)4件、社外論文6件、特許約150件及び社外表彰(日本油空圧学会賞、日本発明協会賞他)により紹介された技術と製品が総合評価されたものです。

また、本技術の産業界への波及効果も重要な評価基準となっており、製鉄所向けに限らず例え受・変電所用遮断器、大型振動試験機等へも適用されています。更に、もっと身近な所では、昨年筑波で開催された科学博覧会へ行かれた方は憶えておられるかも知れませんが、日本政府テーマ館に展示されたあのヨチヨチ歩きの「2足歩行ロボット」へも応用されています。もし事前に知っておられたらもう少し親しみをもって見て戴けたかと考えますと少し残念です。この技術を将来20年後にあの「鉄腕アトム」に近づけたいと言えれば技術屋の見果てぬ夢になりませんか?

さて、翻って今から20年前は私も丁度在学中であり、建学の礎音が轟き、高専設立の礎「中堅技術者の育成」の言葉に昂揚を覚えたのが思い出されます。ところが、卒業が近ずきました技科大設立の際を聞くにつれ逆にこの「中堅」の文字に物足りなさを感じたのは私一人ではなかった様に記憶しております。

しかしながら当時から十数年経た今、諸先輩及び後輩諸君の各分野での御活躍の便りに接する機会を持つにつれ、技術屋にとって可能性は限り無く存在し当時の漫然とした不安は杞憂であった様な気がします。

いずれにしましても、開学以来数千人の技術屋集団を多くの分野へ送り出された教官・事務官他の方々のご努力に謝意を表しますと共に、在校生諸君のスポーツ他益々の精進を期待しております。(株式会社日立製作所 日立工場機械設計部勤務)

小西君を悼む

当時の学級担任 樋口 大成

時の流れというものには悲しいものだ。小西君死んでしまった、と語りかけたとき、「えっ」と驚く人はほんの僅かになってしまったのだ。

彼は本校の7期生として工業化学科に入学した。その彼が薨れたのは、昭和46年1月12日の柔道のクラブ活動中だった。それは火曜日で、ホームルームの時の席替えに関して彼と私は言葉を交わしたばかりだったのに、その放課後、柔道場で練習中頭を打ち、意識不明・脳挫傷で救急車で入院の運びとなった。その意識が回復したのは4月24日だったが、それは彼にとつての、そしてご両親にとつての長く辛い苦悩の出発点でもあった。

身体障害一級患者として、本人はリハビリテーションに努め、お母さんは付添として、病院も再三転院を余儀なくされた15年余の間には、国を訴えての苦しい裁判もあった。そのころ学生主事をさせられた私としては、国側の代理人という立場から、この気の毒な教え子と対決する側に迫られた。小西君が憎いのはなかった。許して下さい。その彼はこの61年4月10日、32歳の生涯を閉じてしまったのだ。一体どこに救いがあるのだろう。

小西君を知る7期生諸君、教職員の皆様、そして有明高専のみなさん、小西君の冥福を祈ってあげて下さい。

教室通信

機械工学科

※次の方が結婚されました。おめでとうございます。

- ◎宮原 茂君 (55) ○61・8・10結婚 (新婦燕娥さん)
◎〒979-11 福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央230 TEL 0240-22-6019
◎梅本春男君 (56) ○61・9・14結婚
◎藤原裕介君 (56) ○61・9・7結婚 (新婦律子さん)
◎〒814-01 福岡市城南区堤団地24-405号 TEL 092-871-5226
※同窓生の転居をお知らせします。
◎平山栄一君 (44) 〒412 静岡県御殿場市かまと676-3
◎赤星繁夫君 (45) 〒675 兵庫県加古川市平岡町
◎北島俊春君 (48) 〒852 長崎市川口町12-9-401 TEL 0958-47-7566
◎鶴田勝彦君 (49) 〒573-01 大阪府枚方市長尾西町3丁目22-2 TEL 0720-67-1472
◎鳥巢吉夫君 (49) 〒471 豊田市トヨタ町10東アパート834号 TEL 0565-27-2493
◎平山健児君 (49) 〒861-22 熊本市戸島町3701-4 TEL 096-380-3042
◎布志木和雄君 (49) 20800 Homestead Rd Apt #36-J Cupertino, CA 95014 U. S. A
◎加藤秀憲君 (50) 〒254 神奈川県平塚市中原下宿874 TEL 0463-23-5327
◎山下 弘君 (50) 〒246 横浜市瀬谷区三ツ境115-13エイコー荘2F TEL 045-365-1790
◎中上俊哉君 (56) 〒463 名古屋市中山区大字大森字御膳洞2381-78 TEL 052-799-2226
◎村上義広君 (56) 〒674 明石市大久保町947-1 神鋼住吉社宅C-304 TEL 078-935-6127
◎鹿山研士君 (57) 〒161 東京都新宿区上落合3-25-21第2ノールマンション工宿203
◎中原和浩君 (61) 〒243-04 神奈川県海老名市中野780-1 日立精工海老名寮

電気工学科

- ◎松永幹哉君 (58) ○61・5・4結婚 (新婦富美子さん)
◎〒840-04 佐賀郡大和町松瀬253 TEL 0952-63-0654
◎吉田実信君 (59) ○61・5・5結婚 (新婦恵美さん)
◎〒573 大阪府枚方市清元町21-9-14
◎米田紀雄君 (52) ○61・6・15結婚 (新婦ちづ代さん) ◎〒664 伊丹市萩野1-57 TEL 0727-82-8775
◎三宅彰文君 (48) ○61・9 転居 ◎〒816 春日市春日原南町4丁目37-79 TEL 092-571-2647
◎上村千幸君 (60) (豊橋技科大4年在学中) は8月6日豊橋市内で交通事故の犠牲者となりました。謹んで御冥福をお祈りいたします。
※学校来訪者 (敬称略)
堀口和敏 (48) 江口和隆、堀正広 (以上50) 小林和裕 (51) 山本勝喜 (53) 福嶋信二 (54) 堤豊 (55) 木下博 (56) 工藤

信幸、竹内浩伸 (57) 角明博、高岡浩一、中津海無辺、宮本恭祐、吉田龍次 (以上58) 青木信広、内田浩幸、阿久根利宗、桑原浩文、佐藤修司、副島義昭、陣内守久、田島浩二、村田真也、諸藤康夫、和田卓也 (以上59) 井島達也、岩田昭吾、北原晋一、興昌秀一、角田一誠、角哲也、小宮寿之、副島誠康、境靖広、飛松誠二、中村博文、中村重治、西川哲夫、原田茂穂、深町公、橋本良則 (以上60) 荒巻高広、岩木英史、井上喜英、木村裕司、清田直登、菊池匡吾、斎藤隆幸、嶋本篤、四牟田精一、中井高、中村剛直、中村悟、東泉、弘島正二郎、松尾基史、道上礼則、水元雄二 (以上61)。

工業化学科

- ※宮本先生が61・9・24付で九州大学工学博士号を取得されました。おめでとうございます。主論文は『マンガアンモニウムカルバメートからの二酸化マンガンの化学合成とその電池材料としての特性』です。
※次の方が結婚されました。おめでとうございます。
◎古財和美君 (54) ○61・5・18結婚 (新婦真由美さん (旧姓寺本))
◎村上政明君 (54) ○61・10・12結婚 (新婦ひろみさん (旧姓北野))
◎瀬戸口昭生君 (54) ○61・10・10結婚 (新婦幹子さん (旧姓立花))
◎福島元子さん (旧姓田代) ○61・5・3結婚 (新郎福島幹雄さん) ◎〒567 大阪府茨木市西駅前町8-15吉田マンション510号 TEL 0726-24-3204
◎石橋浩文君 (59) ○61・4・29結婚 (新婦晴美さん (旧姓本田) ◎〒839-02 三池郡高田町大字濃施
◎武本雅達君 (59) ○61・9・23結婚 (新婦佳恵さん (旧姓古川))
◎福島憲一君 (48) ○転動 富士フィルム (株) (Fuji Photo Film G. m. b. H. Heesen stn 31 4000 Düsseldorf Phostfach 3204 West Germany TEL 0211-50890)
国内連絡先 玉名市立願寺449 福島界方 TEL 09687-3-5664
◎吉川信二君 (60) ◎住所変更〒663 兵庫県西宮市今津賢町2-13岩谷瓦斯 (株) 甲子園寮 (60・12・1 大阪水素工業 (株) が3社合併して岩谷瓦斯 (株) になった)
※塚脇省三君 (55) 今春、千葉工大を卒業されました。おめでとうございます。

建築学科

- ※次の方が結婚されました。おめでとうございます。
◎佐藤通孝君 (54) ○61・5・10結婚 (新婦ひろみさん) ◎〒333 埼玉県川口市芝3の5の22オークハイツ103 TEL 0482-68-0282
◎志水邦子君 (54) ○61・10・18結婚 (新郎中川博文さん)

- ※同窓生の転動・転職・転居等をお知らせします。
◎月足卓真君 (49) □転職 月足設計室 一級建築士事務所 ◎〒862 熊本市楠4丁目11-1 TEL 096-339-5914
◎川口 (松原) 厚君 (49) □転動 (株) 間組 (〒810 福岡市中央区薬院3丁目16番27号 TEL 092-531-5031)
◎〒836 大牟田市青葉町1-49 TEL 0944-53-5264
◎西山敏治君 (49) □転職、(株) 島村組 (熊本県玉名市中尾490-1 TEL 09687-2-2469) ◎〒837 大牟田市大字歴木1807-251 TEL 0944-54-0288
◎染田寿聡君 (52) ◎転居〒223 横浜市港北区日吉本町1362カサベルダ505号 TEL 044-63-2853
◎堤 利博君 (52) □転動 大和ハウス工業 (株) (〒550 大阪市西区阿波座一丁目5番16号 TEL 06-532-5111)
◎〒593 大阪府堺市毛穴町445の5 TEL 0722-71-9059
◎村橋喜満君 (52) ◎転居〒806 北九州市八幡西区鉄道1丁目1番32-304 TEL 093-622-3732
◎江口俊彦君 (52) □転職 東洋リサーチコンサルタント
◎坂中政博君 (56) ◎転居〒165 東京都中野区江古田4-7-5清水建設沼袋寮 TEL 03-385-7968
◎今村利弘君 (57) □転動 三井ホーム (株) (〒220 横浜市西区北幸1-4-1 横浜天理ビル内 TEL 045-319-5115) ◎〒233 横浜市港南区上大岡東2-2-18 TEL 045-841-8441
◎酒見宏祐君 (57) ◎転居〒814 福岡市城南区金山団地9棟502号 TEL 092-863-1408
◎栗原亮一君 (58) □転動 西松建設 ◎〒272 千葉県市川市菅野5-10-30 西松建設 (株) 市川寮
◎池田美義君 (61) □就職 (株) 大林組 (〒101 東京都千代田区内神田2丁目12番地5号内山ビル TEL 03-256-5471) ◎〒273 千葉県船橋市宮本8-33-1 大林組花輪寮 TEL 0474-22-5619
◎井手一雅君 (61) □就職 上村建設 (株) (〒810 福岡市中央区大名1丁目10-20上村第一ビル TEL 092-771-6631) ◎〒810 福岡市中央区大名1丁目10-25上村第二ビル上村社員寮内 TEL 092-751-8411
◎今村幸子君 (61) □就職 トーヨーサッシ (株) (〒124 東京都葛飾区細田3-8-9 TEL 03-672-6501)
◎〒278 千葉県野田市野田451 愛宕寮 TEL 0471-22-6974
◎岩永 浩君 (61) ◎就職 東京ガス (株) (〒167 東京都杉並区西荻北5-8の22 TEL 03-396-2121) ◎〒165 東京都中野区新井2-47-6 東京ガス中野独身寮 TEL 03-388-6521
◎内山嘉章君 (61) ◎就職 (株) 島設計 (〒812 福岡市博多区博多駅前4丁目3番22号 TEL 092-431-2588) ◎〒816 大野城市筒井2丁目3-41

- TEL 092-581-2151
◎江田卓宏君 (61) □就職 西日本大和ハウス販売 (株) (〒812 福岡市博多区博多駅前1丁目9番11号福岡大和ビル内 TEL 092-411-7114) ◎〒813 福岡市東区香椎1丁目11-5 ハイッ添田101
◎江原由紀乃君 (61) □就職 九積セキスイハイム (株) (〒840 佐賀市駅前中央1丁目5-14ニュー城ビル内TEL 0952-23-7345) ◎〒841 鳥栖市菅方町207番地の31 TEL 0942-83-2251
◎大橋正弘君 (61) □就職 大和ハウス工業 (株) (〒812 福岡市博多区博多駅前1丁目9番11号 TEL 092-411-7431) ◎〒816 福岡市博多区斐野3丁目17の35ロイヤルコート斐野 TEL 092-573-5812
◎岡 啓輔君 (61) □就職 殖産住宅相互 (株) 京都支店 (〒600 京都市下京区四条通油小路西入藤本寄町26-1 TEL 075-231-1181) ◎〒611 宇治市五ヶ庄一里塚1-75
◎木村邦子君 (61) □就職 平和総合コンサルタント (〒830 久留米市通町103-6 TEL 0942-39-3311) ◎〒836 大牟田市島塚町16-10 TEL 0944-52-7425
◎倉富昭弘君 (61) □就職 (株) ミサワセラミックホーム福岡 (〒810 福岡市中央区天神2丁目8番34号 TEL 092-711-0055) ◎〒876 大野城市瓦田1丁目9-7村田アパートステイタス101号
◎高岡計成君 (61) □就職 龍建設 (〒810 福岡市中央区大名2丁目9番17号 TEL 092-771-6811) ◎福岡市早良区内野1270-3 TEL 092-804-2149
◎田中昭彦君 (61) □就職 福岡 Y K K 工業 ◎〒811-21 福岡県粕屋町須恵町大字須恵1025の1番地
◎露林清隆君 (61) □就職 (株) 森本組 (〒610-03 京都府綴喜郡田辺町興戸和井田2の1 (株) 森本組近鉄興戸作業所 TEL 07746-3-6111) ◎〒634 奈良県橿原市御坊町39-4 (株) 森本組橿原寮 TEL 07442-2-3931
◎武藤和弘君 (61) □就職 (株) 鴻池組 (〒541 大阪市東区北久宝寺4丁目27 TEL 06-244-3500) ◎〒555 大阪市西淀川区姫島1丁目6番13号 TEL 06-474-5897
◎脇坂信吾君 (61) □就職 (株) 船場 ◎〒571 大阪府門真市常楽寺町27-13 (株) 船場大和田寮
※学校来訪者 (敬称略)
鶴田誠 (48) 村川浩介 (50) 菊川隆 (52) 江口俊彦、後藤茂穂 (以上53) 牧旨之 (54) 生駒新也 (55) 江口茂 (56) 岡野公嘉、橋本義人、橋本知章、藤崎剛 (以上57) 上妻修、柴田国広、本田秀徳 (以上58) 井手裕章、江口資、小井手美和 (以上59) 内山嘉章、江原由紀乃、大橋正弘、岡村孝継、木村邦子、寺田尚彦、武藤和弘、脇坂信吾 (以上61)。
※次の方々から教室に登壇見舞をいただきました。(敬称略)
野田繁子 (49) 染田寿聡 (52)

高専体育大会

第23回(昭和61年度)九州地区

国立工業高等専門学校体育大会は7月18日(金)、19日(土)、20日(日)の三日間、主管校八代、担当校都城・鹿児島の高専によって、それぞれの地区で行われた。

今年、団体戦では剣道が2位、バスケットが決勝リーグ3位に入る善戦ぶりであった。

個人の部では、陸上の走高跳で4A斉藤祐幸が優勝、またやり投げの4M松尾淳・円盤投げの4M中島良介・100mの2C野畑光晴がいずれも2位となり、これら4名が全国大会に出場することとなった。

その他、800mの4M六倉清晴が惜しくも3位であった。また水泳では100mと200mの平泳ぎで3C瓦田貴之が、また100m自由形で3M大村茂則がともに優勝という素晴らしい成績を示した(全国大会なし)。柔道個人では軽量級で4C林正道が2位に入った。

団体・個人の両方を通じて、すべてのクラブが春夏の合宿、日頃の放課後の練習はもとより、土曜日曜の練習や試合など、苦しさに耐えて頑張った成果が発揮されたものとして称えたい。

また来年を期して頑張ろう。

以下に成績を示す。

なお、各会場に激励に駆けつけて下さったり、軍資金を送られたり、クラブを励ましに来て下さった先輩諸氏、ならびに大会のために尽力を頂いた関係各位に心よりお礼を申しあげる。

●陸上競技・水前寺陸上競技場

総合5位。優勝佐世保・2位鹿兒島・3位八代

100m 2位2C野畑光晴 11秒3
400m 4位3C谷口日出雄 52秒9
800m 3位4M六倉清晴 2分1秒3
4×400m 6位有明 3分35秒7
走幅跳 5位4E松永英郎 6m33
走高跳 優勝4A斉藤祐幸 1m83
砲丸投 5位4M中島良介 12m9
円盤投 2位4M中島良介 38m46
同 6位4M原田義弘 34m2
やり投 2位4M松尾淳 49m76

●軟式野球・八代市民テニスコート

予選3位。優勝鹿兒島・2位八代・3位久留米

○予選リーグ

有明1-2久留米
大分2-1有明

○個人戦ではベスト8まで進出できず

●剣道・八代高専第一体育館

順位2位。優勝久留米・2位有明

明・3位八代

○予選リーグ

有明2-2熊本電波
(代表戦で有明勝利)

有明3-2鹿兒島

○決勝リーグ

有明2-3久留米
八代0-5有明

○個人戦はベスト8に達せず。

●水泳・八代高専プール

順位4位。優勝佐世保・2位鹿兒島・3位久留米

400mメドレー 4位 5分11秒3
800m自由形 5位4M吉田孝文 12分16秒9
200m自由形 6位2E北村丈志 2分45秒0
200m平泳 1位3C瓦田貴之 3分1秒7
400m自由形 5位4M吉田孝文 5分51秒9
100m自由形 1位3M大村茂則 1分22秒4
100m平泳 1位3C瓦田貴之 1分20秒8
50mバタフライ 4位3M大村茂則 31秒6
400mリレー 4位 4分31秒4

●硬式野球・都城市営球場

順位1回戦。優勝久留米・2位熊本電波・3位佐世保、北九州有明1-3佐世保

●バスケット・都城市営体育館

順位3位。優勝鹿兒島・2位八代

代・3位有明

○予選リーグ

有明92-69大分
有明74-65佐世保

○決勝リーグ

有明44-87鹿兒島
有明66-71八代

●卓球・都城体育文化センター

順位予選3位。優勝北九州・2位八代・3位熊本電波

○予選リーグ

有明1-3大分
有明1-3熊本電波

○個人シングルスでは3M秋山靖洋がベスト8に進出。

●サッカー・鹿兒島高専

順位1回戦。優勝鹿兒島・2位大分・3位都城、佐世保

有明1-2都城

●柔道・国分市武道館

順位予選3位。優勝鹿兒島・2位八代・3位大分

○予選リーグ

有明2-2大分
(得点差で敗退)

○個人戦では4C林正道が軽量級2位。

●バレーボール・国分総合体育館

順位予選3位。優勝久留米・2位鹿兒島・3位佐世保

○予選リーグ

有明0-2鹿兒島
有明1-2八代

●第16回西日本地区高等専門学校弓道大会(7月19日(土)、国分市宮弓道場)

順位3位。優勝鹿兒島・2位高知・3位有明

○予選リーグ

有明14中-11中宇部
有明9中-6中都城

○決勝リーグ

有明10中-8中高知
有明8中-9中鹿兒島

三高専とも一勝一敗となり、競射の結果3位となる。

○個人戦では5A合原孝善が4位、4A桜井孝弘が5位となった。

●第2回九州地区国立工業高等専門学校硬式野球大会(7月19日(土)・20日(日)、鹿兒島厚生年金健康福祉センター)

順位予選3位。優勝久留米・2位佐世保・3位大分

○予選リーグ

有明0-3鹿兒島
有明0-3久留米

○個人戦ダブルスでは3A黒崎清光・3M河野正治組が、またシングルスでは5A馬場繁徳がともにベスト8まで進出した。

●第13回九州地区工業高等専門学校ハンドボール大会(7月6日(日)、久留米工業大学体育館)

順位2位。優勝八代・2位有明
2回戦 有明29-23都城
決勝戦 有明7-29八代

●第14回全国高等専門学校通信弓道大会

主管校 久留米高専

期間 7月5日-8月15日(各校に一任)

第14回体育祭

ではなからうか。明年に期待するや切なるものがある。

●第21回全国高等専門学校体育大会は8月23日(土)から25日(月)の三日間、中国地区主管(宇部高専が主管校)で行われた。

本校の出場者は前頁で紹介したように、陸上部の4A斉藤祐幸・4M松尾淳・4M中島良介・2C野畑光晴の4名である。松尾と中島は昨年にひきつづいての出場であった。

陸上の会場は山口県新100記念公園陸上競技場で、直前に全国高校総体が行われたばかりで、素晴らしい設備と環境であった。

成績はつぎのとおりである。

円盤投げ優勝 4M中島 44m14
やり投げ優勝 4M松尾 52m18
走高跳 4M松尾 1m80
100m 4位 2C野畑 11秒2

この4名の全国大会までの努力は頭の下るものであった。猛暑の中、毎日毎日自分との戦いであった。この孤独な姿は見る者の胸を打った。この汗と努力があつて始めて、この成績があるといえるのである。

十月二十三日火曜日八時五十分、絶好の秋晴れの中、ヒヤの合図により第十四回体育祭が開催された。テーマは「喝采」学生同志が互いをたたえ合い、鼓舞し合うという主旨であった。

応援合戦、百メートル競争を皮切りに、今回新しく競技に取り入れられたならんで棒(一本の棒を6人が両手で握り、各種の障害物を乗り越える)や、ゴール前に車輪にも好評であった。恒例の綱引き、騎馬戦と盛り上がり、午前中最後の応援合戦は、各科先輩から受け継いだ伝統の手法の中にも、新しさを織りまぜ、すばらしい芸を披露した。前回好評であったマスケットを今回も採用したが、観客の人数物となつて、今大会を盛り上げてくれた。

午後に入り、本校ならではの大迫力の棒倒し、借り物競争、クラブ紹介、花形の学科対抗リレーとスタンド・観客席を沸かせ、四科エール交換を最後に、競技は終了した。

結果は、四連覇をねらった建築学科を阻み、機械工学科が圧倒的強さで総合優勝を手にした。電気化学、建築も優勝を目指して最後まで健闘した。

幸い大きな事故もなく、成功するはずであったイス取りと、プログラムの進行が一時間遅れたことを除けば、雨による練習不足にもかかわらず、合格点がつけられる大会ではなかったかと思う。

後日行われた反省会について報告してみると、良かった点として、学生負担金の上限を各科とも守ったこと、ユニフォームを科ごとに色分けを行っていたこと、各科の色別が容易であったこと、応援の方法についても各科伝統の中にも新しさを加えていたこと、などであった。改善する点としては、日程に余裕をもたせ、雨天延期の際の日程の組み方を考えるということであった。

雨に悩まされた今大会であったが、観客、来賓の方々にも多数ご来場いただいたことは、非常に光栄であった。又、こうしての一応の成功を納めることができたのも、江田実行委員長をはじめ、夜遅くまで頑張ってくれた学生会役員、各科団長の御蔭であり、御指導、御協力下さった主事室・体育科の先生方、学生係の職員の方々の御力添えなくしては考えられなかったことである。この場をかりて改めて深く感謝いたします。

学生会長 5A牛島昌嗣

春季球技大会

昭和61年度春季球技大会がグラ

ンド・テニスコート・体育館・武道場で各種目のソフトボール・バレーボール・軟式テニス(3年以上)・卓球(2年生以下)が行われました。各クラス壮絶な戦いで結果は次のとおりです。

○ソフトボール 4M
○バレーボール 4M
○軟式テニス 5A
○卓球 1A

その結果、最優秀クラスには、ソフトボール・バレーで優勝した4年機械工学科が選ばれました。

この球技大会で各クラスの特徴がわかるのではないだろうか。普段、バラバラのクラスで個性の強い者がばかりが集まっているのに、妙に球技大会ではバッチリまとまっていて強いクラスというのがあります。妙にそこが強いんです。

そういう点で球技大会を違う面で見ると、とてもおもしろくおかしな面が見れると思います。

また日頃がんばっているクラブ部員の力もとても強力な武器となっていることは確かです。

今年も天候にも恵まれ学生の応援の態度も良く四月に入學した1年生の歓迎・そして最後の球技大会となる5年生には思い出が出来るたのではないだろうか。

さいわい、たいしたけがなく無事、大会が終了自分自身よかつたと思っております。

各先生方もどうもおつかれさまでした。来年もぜひ学生と同様にがんばって下さい。どうもありがとうございます。

最後に学生会その他、御指導下さった先生方・学生会役員に深く感謝致します。

学生会体育局長 5A江田昭彦

学生会長 5A牛島昌嗣

第19回 九州地区

*** 高専英語弁論大会 ***

去る七月二十九日火曜日、北九州高専において第十九回九州地区高専英語弁論大会が行われました。はじめは、ESSから三人の出場者を予定して、それぞれに努力を重ねていたのですが、英語の文章を書くとなると、なかなかうまくいかず、残念ながら2C前田一名のレシーション出場となりました。

大会の前日、北九州に着いた時には、すでに九州各地の高専から学生が集まっており、圧倒されてしまいました。しかし、思っていたよりも女子学生が多く、すぐに親しくなることができたため、なごやかな雰囲気の中で夜を過ごしました。

今回、私が出場しましたレシーションには、あらかじめ原文が与えられており、それを暗記するのでスピーチのように創作の必要がなく、また二年生以下という制限がなされているため、賞を頂いて帰ったのでした。しかし、部員数が十数名となり、活気もでてきたので、次回では賞を頂けるよう努力していこうと思います。

2C 前田雅子

去る八月五日（火）、大分県立芸術会館にて、久留米、有明、北九州、大分の四高専吹奏楽部による合同演奏会が盛大に開かれました。

この演奏会のため、約一週間の合宿を行い、他高専との交流を深めつつ練習にはげみました。

演奏会は三部形式で、第一部は久留米高専

OBの田中浩剛さんの指揮による吹奏楽オリ

ジナル曲で、友愛のフ

ンファールと聖歌、序

曲祝典、吹奏楽のため

の組曲第三番（バレエ

の情景）の3曲でした。

第一部は、難曲が多く、指揮の田中

さんも曲をまとめるのに苦労されていたようですが、演奏会では、四高専ならではのオリジナル曲に仕上がったと思っ

ています。

第二部は、本校四年工業化学科の松井利一君の指揮によるポピュラーミュージックでした。二部

のステージでは、曲を聴いていた

だく他に、観て楽しめるようにいろいろ工夫されていて、中には演奏している私達まで吹きだしてしまいそうになるようなおかしなものまでありました。

第三部は、大分高専OBの向隆さんの指揮によるクラシックです。

曲目は、ベートーヴェンのエグモ

ント序曲、ストラヴィ

ンスキーのロシア風ス

ケルツォ、チャイコ

フスキーのスラヴ行進

曲の3曲でした。今回の三部は大曲揃いで、百人余りの部員全員に

よる力強い演奏が客席にとどきました。

この演奏会も今回で十九回目です。回数が増えるにつれて、新しい発見があります。この演奏会はまだいろいろの問題が残されていますが、四高専の部員

が一つになって、それらを解決していつてい

ます。

今回は久留米高専の当番です。本校に最も近い当番校でありますので、本校の学生の来

場も期待しています。第二十回ということでまた一段と盛り上がり

たステージになると思われます。最後になりましたが、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

4A 村上 忠

大牟田市青少年健全育成標語入選作

何ごとも自分で判断 善と悪

1A 矢 富 保

阿蘇耐久レースで

本校職員健闘 60km 全員完走！

去る11月1日（土）に行われた熊本大学学園祭恒例の阿蘇耐久遠歩レースに、本校からも有志職員4名が参加した。

今回で第23回を迎えたこの行事は、阿蘇山上広場を午前0時に出発し熊本大学までの全行程58・9kmを走り、あるいは歩き抜くというものだが、その行程のほとんどが下り坂であるため、無理をする

と、膝をこわし、足首を痛め、まめをつくり、足を引きずりながら熊本大学を目指すということにもなりかねない。この可酷な行事に今回も学生・教職員合わせて七百数十名の参加があった。その中で本校より参加した有志職員4名も予想以上の健闘を見せ、無事、しかも好タイムでゴールインした。以下、結果を報告する。

所属 回 氏名 タイム 順位
学生課④田中 5:03 6位
学生課④田中 5:19 19位
学生課②堀田 5:50 60位
会計課②西原 6:50 96位
学生課②森田 7:30 96位

本号の発行は12月であるが、現在11月初旬、秋も深まり、里もすっかり紅葉に包まれてきた。

紅葉に啼くや山がらす 白雄

編集後記

「有明高専だより」は年3回発行であるから、本号は必然的に、体育関係、文化関係の記事が中心になる。

巻頭を飾る写真に、本校体育祭の目玉とも言える各学科のバックボードを選んできた。学生の汗の結晶はどれも傑作で、カラーでないのが残念である。もう一枚、前回から登場している各学科のマスクット人形を添えた。写真は、いちばん人気の高かった電気工学科のマイケル君である。

今年の小文化祭には西日本新聞の解説委員長益田憲吉氏に来ていただいた。非常に楽しい講演で、学生も面白がっていたようだ。お聴きもしの人は本号の講演要旨をどうぞ。

本号の発行は12月であるが、現在11月初旬、秋も深まり、里もすっかり紅葉に包まれてきた。

紅葉に啼くや山がらす 白雄